

損益状況<2行合算>

(単位:億円)

	2018年9月期	前中間期比	2017年9月期
経常収益	836	△7	844
コア業務粗利益	640	△9	650
資金利益	552	△17	569
役務取引等利益	83	2	81
特定取引利益	0	△0	0
その他業務利益	4	4	△0
経費	437	△7	445
コア業務純益	203	△2	205
実質業務純益	193	12	180
与信費用	5	△18	23
株式等損益	21	△16	37
経常利益	206	15	191
中間純利益	155	30	125
連結自己資本比率	9.78%	0.05%	9.73%
連結経常収益	918	1	917
連結経常利益	194	14	180
親会社株主に帰属する中間純利益	139	28	111

コア業務粗利益は、役務取引等利益およびその他業務利益は増加したものの、貸出金利息の減少を主因として資金利益が前中間期を17億円下回ったことにより、前中間期比9億円減少の640億円となりました。

コア業務純益は、経費の削減もあり前中間期比2億円減少の203億円となりました。

経常利益は、株式等損益の減少を国債等債券損益の改善によりカバーし、与信費用も減少したことから前中間期比15億円増加の206億円となりました。

中間純利益は、前中間期比30億円増加の155億円となりました。

連結自己資本比率は、9.78%となりました。

連結経常収益は前中間期比1億円増加の918億円、連結経常利益は前中間期比14億円増加の194億円、親会社株主に帰属する中間純利益は前中間期比28億円増加の139億円となりました。

普通株式配当につきましては、期末一括配当1株当たり44.0円を予定しております。

なお、優先株式は所定の中間配当とさせていただきます。

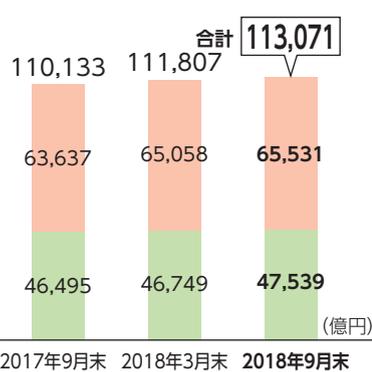
預金(含む譲渡性預金)<2行合算>

北陸銀行
北海道銀行

預金(含む譲渡性預金)

11兆3,071億円

個人預金、法人預金とも順調に増加し、前中間期末比2,937億円増加しました。



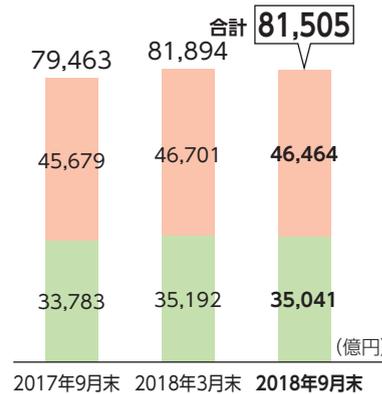
貸出金<2行合算>

北陸銀行
北海道銀行

貸出金

8兆1,505億円

事業性貸出、個人ローン、地方公共団体等向け貸出が増加し、前中間期末比2,042億円増加しました。



自己資本比率<連結>

自己資本
自己資本比率

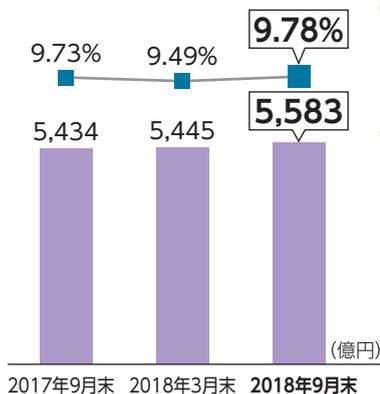
自己資本

5,583億円

自己資本比率

9.78%

利益による剰余金の積上げにより自己資本が増加したことなどにより、2018年3月末比0.29ポイント上昇しました。



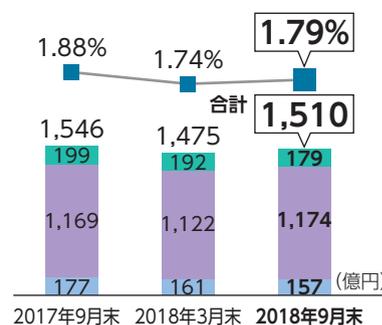
金融再生法開示債権<2行合算>

要管理債権
危険債権
破産更生債権及びこれらに準ずる債権
開示債権比率

金融再生法開示債権

1,510億円

2018年3月末比34億円増加しました。



開示債権比率

1.79%

2018年3月末比0.05ポイント上昇しました。

損益状況

(単位:億円)

	2018年9月期	前中間期比	2017年9月期
経常収益	454	△2	456
コア業務粗利益	350	△3	353
資金利益	296	△8	304
役務取引等利益	49	4	44
特定取引利益	0	△0	0
その他業務利益	4	△0	4
経費	235	△2	238
コア業務純益	114	△0	115
実質業務純益	110	10	100
与信費用	△0	△17	17
株式等損益	13	△10	23
経常利益	126	17	108
中間純利益	92	26	65
自己資本比率	9.21%	0.17%	9.04%
連結経常収益	454	△2	457
連結経常利益	126	17	108
親会社株主に帰属する中間純利益	92	26	65

コア業務粗利益は、貸出金利息の減少により、前中間期比3億円減少の350億円となりました。

コア業務純益は、前中間期とほぼ同水準の114億円となりました。

経常利益は、株式等損益の減少を国債等債券損益の改善によりカバーし、与信費用も減少したことから前中間期比17億円増加の126億円となりました。

中間純利益は、前中間期比26億円増加の92億円となりました。

連結経常収益は前中間期比2億円減少の454億円、連結経常利益は前中間期比17億円増加の126億円、親会社株主に帰属する中間純利益は前中間期比26億円増加の92億円となりました。

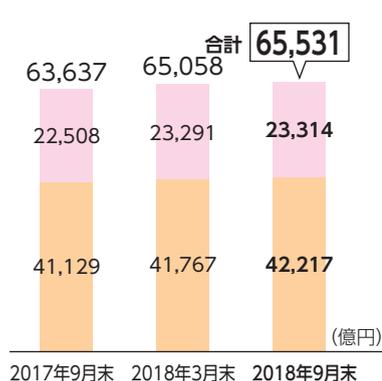
預金(含む譲渡性預金)

法人等
個人

預金(含む譲渡性預金)

6兆5,531億円

個人預金、法人預金とも順調に増加し、前中間期末比1,893億円増加しました。



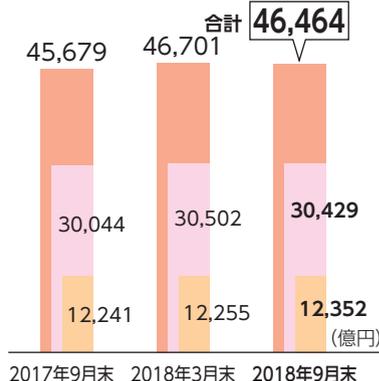
貸出金

中小企業等
個人ローン

貸出金

4兆6,464億円

事業性貸出、個人ローン、地方公共団体等向け貸出が増加し、前中間期末比784億円増加しました。

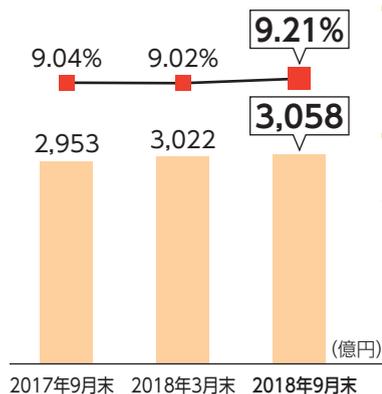


自己資本比率

自己資本
自己資本比率

自己資本
3,058億円自己資本比率
9.21%

利益による剰余金の積上げにより自己資本が増加したことなどにより、2018年3月末比0.19ポイント上昇しました。

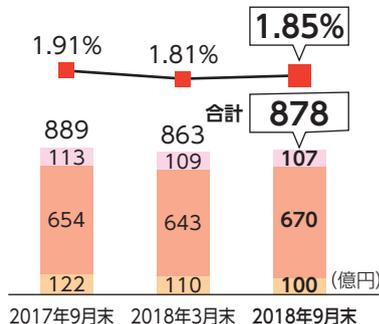


金融再生法開示債権

要管理債権
危険債権
破産更生債権及びこれらに準ずる債権
開示債権比率

金融再生法開示債権
878億円

2018年3月末比15億円増加しました。

開示債権比率
1.85%

2018年3月末比0.04ポイント上昇しました。

損益状況

(単位:億円)

	2018年9月期	前中間期比	2017年9月期
経常収益	382	△5	387
コア業務粗利益	290	△6	296
資金利益	256	△9	265
役務取引等利益	33	△2	36
その他業務利益	0	5	△5
経費	201	△5	206
コア業務純益	88	△1	90
実質業務純益	82	1	80
与信費用	6	△0	6
株式等損益	8	△5	14
経常利益	80	△2	82
中間純利益	63	4	59
自己資本比率	9.44%	△0.09%	9.53%
連結経常収益	382	△5	388
連結経常利益	72	△6	79
親会社株主に帰属する中間純利益	54	0	54

コア業務粗利益は、貸出金利息および役務取引等利益の減少により、前中間期比6億円減少の290億円となりました。

コア業務純益は、前中間期比1億円減少の88億円となりました。

経常利益は、株式等損益の減少を国債等債券損益の改善によりカバーし、前中間期比2億円減少の80億円となりました。

中間純利益は、前中間期比4億円増加の63億円となりました。

連結経常収益は前中間期比5億円減少の382億円、連結経常利益は前中間期比6億円減少の72億円、親会社株主に帰属する中間純利益は前中間期並みの54億円となりました。

預金(含む譲渡性預金)

法人等
個人

預金(含む譲渡性預金)

4兆7,539億円

個人預金、法人預金とも順調に増加し、前中間期末比1,044億円増加しました。



貸出金

中小企業等
個人ローン

貸出金

3兆5,041億円

事業性貸出、個人ローン、地方公共団体等向け貸出が増加し、前中間期末比1,257億円増加しました。



自己資本比率

自己資本
自己資本比率

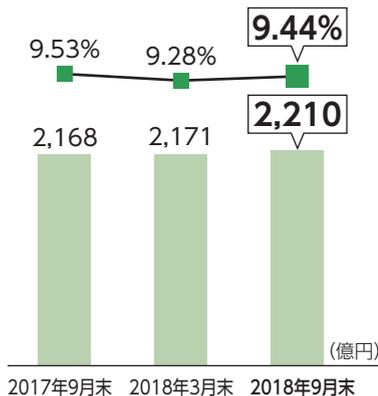
自己資本

2,210億円

自己資本比率

9.44%

利益による剰余金の積み上げにより自己資本が増加したことなどにより、2018年3月末比0.16ポイント上昇しました。



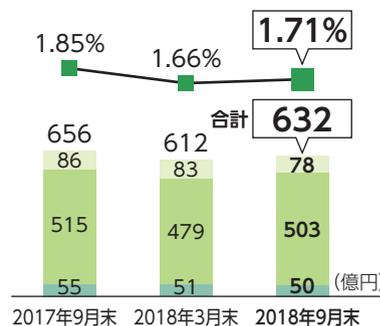
金融再生法開示債権

要管理債権
危険債権
破産更生債権及びこれらに準ずる債権
開示債権比率

金融再生法開示債権

632億円

2018年3月末比19億円増加しました。



開示債権比率

1.71%

2018年3月末比0.05ポイント上昇しました。